スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

山口県　長門市

自 治 体 名 ： 山口県　長門市
担 当 課 名 ： スポーツ文化交流課　地域クラブ運営企画室
電 話 番 号 ： 0837-22-3526

1.自治体の基本情報

スポーツ庁

基本情報

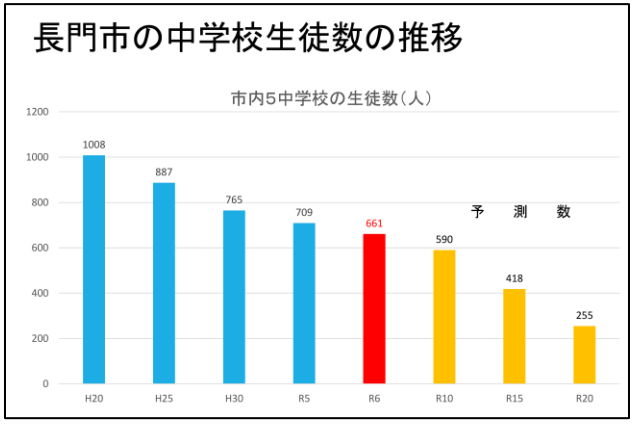
面積	357.9k㎡
人口	30,634人
公立中学校数	5校
公立中学校生徒数	661人
部活動数	34部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

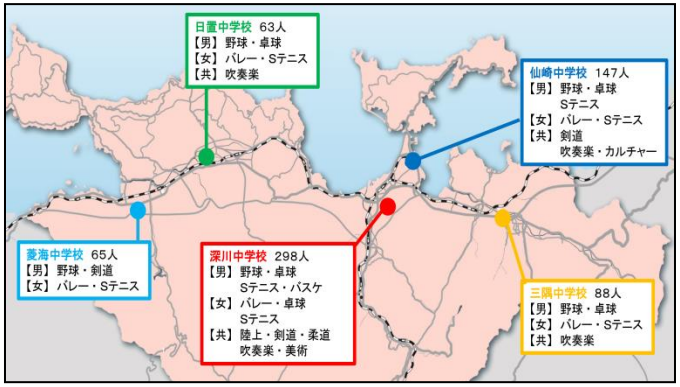
地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

現在、本市の中学校数は5校、生徒数は661名だが、急速に少子化が進行しており、令和20年には250人程度となる見込みである。市中心部に位置する深川中学校は、各学年3クラス編成、生徒数300名程度の中規模校だが、周辺4校（仙崎、三隅、日置、菱海）は各学年1～2クラス編成、生徒数60～140名程度の小規模校であり、設置されている部活動の種目選択肢に大きく格差が生じ、従来から格差解消の要望が多く寄せられていた。さらに近年は、学校の規模に関わらず、軟式野球やバレーボールの団体競技は、部員数が不足し、合同チームの編成を強いられる状況が続いている。また、部活動の指導が教員の時間外在校時間超過の一因となっており、負担軽減を図る必要がある。

以上のことから、各学校単位での部活動存続が困難な状況を改善すべく、部活動改革を進めたいが、過疎地域の小規模自治体である本市には受け皿となる団体や人材が乏しく、学校間の移動も徒歩や自転車では困難である。

そこで本市は、この部活動改革の取り組みとして、学校間をバス移動することにより、市内共通の種目選択肢を確保し、休日・平日ともにスポーツ・文化芸術活動に親しむことができる市営地域クラブ「ＮＡＧＡＴＯスポーツ・カルチャークラブ」(通称Ｎクラ)を令和7年8月に設立し移行を目指すこととした。



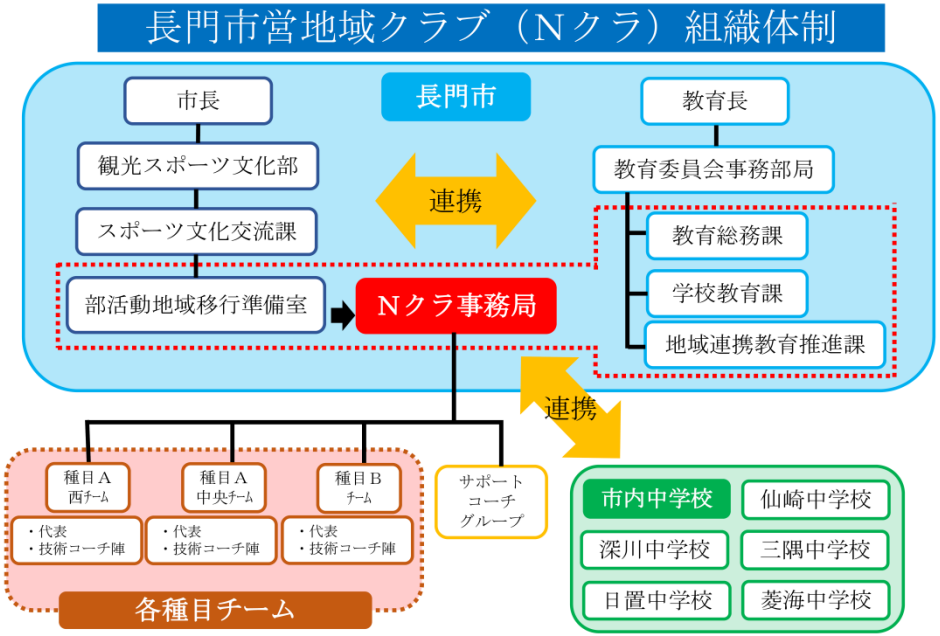


2.実証内容と成果

スポーツ庁

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◉教育委員会

・市内中学校との連絡調整
・学校施設開放、スクールバス活用等の検討
・その他、学校や教職員に関する諸課題の検討

◉首長部局

・部活動改革推進協議会の運営
・各関係者との連絡調整
・その他、市営地域クラブ（Nクラ）の設立等、移行に向けた諸課題の検討

年間の事業スケジュール

令和6年4月	市長部局に準備室を設置（教育委員会部局から移管）
令和6年5月	第7回部活動改革推進協議会
令和6年7月	第8回部活動改革推進協議会
令和6年8月	市内の全教職員向け説明会
令和6年9月	実証事業「卓球クラブ活動」 教職員向けアンケート 競技者向けアンケート
令和6年10月	第9回部活動改革推進協議会
令和6年12月	実証事業「陸上競技クラブ」 第10回部活動改革推進協議会
令和7年1月	実証事業「卓球クラブ体験会」 児童・生徒、保護者説明会1
令和7年2月	実証事業「柔道クラブ」 実証事業「剣道クラブ」 重点地域シンポジウム出席 児童・生徒、保護者説明会2
令和7年3月	第11回部活動改革推進協議会 実証事業参加者アンケート 児童・生徒意向アンケート
※随時	種目別関係者協議

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	5校	実施した地域クラブ総数	1クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		3クラブ（0部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		1クラブ
全体の指導者数	43人	全体の運営スタッフ数	3人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目	実施回数	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
菱海卓球クラブ	長門市	卓球	週２回程度	15:00～16:30	中2	R6.9～R6.11	菱海中学校	15人	3人（他クラブと兼務）	会費0円/人	参加なし
長門市陸上競技クラブ		陸上競技	月２回程度	17:15～18:30	小6 中1～3	R6.12～R7.3	小河内総合グラウンド	11人		会費1,000円／人	
Nクラに向けた柔道クラブ		柔道	月２回	9:00～11:30	中1～2	R7.2	深川中学校	6人		会費0円/人	
Nクラに向けた剣道クラブ		剣道	月１回	9:00～11:30	中1～2	R7.2	長門武道館	11人		会費0円/人	

③その他、体験会やイベント等の開催実績

●Nクラ卓球体験会　R7.1～2　計5回開催

●指導者・保護者等研修会　R7.2.16開催

2.実証内容と成果

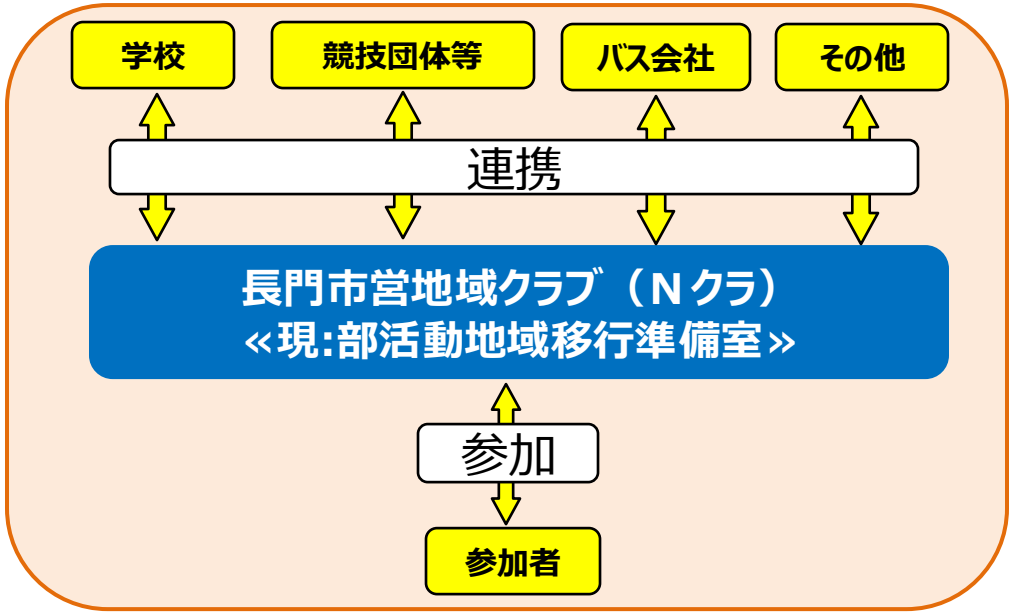
スポーツ庁

主な取組例

●長門市営地域クラブ　活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	卓球、陸上競技、柔道、剣道
運営団体名	長門市
期間と日数	卓球：9月7日 ～ 11月13日 週2回程度 陸上：12月18日 ～ 3月5日 月2回程度 柔道：2月8日～2月15日 月2回程度 剣道：2月8日
指導者の主な属性	各競技団体等から推薦を受けた公務員（兼職兼業）、一般競技者等
活動場所	学校施設、その他公共施設
主な移動手段	徒歩、自転車、バス
１人あたりの参加会費等（年額）	卓球、柔道、剣道：0円 陸上：1,000円
１人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,200～1,850円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●代表
　役割：クラブ活動における統括
●技術コーチ
　役割：競技に対する専門知識を有し指導を行う
●サポートコーチ
　役割：活動の安全管理や技術コーチのサポートを行う
●準備室（事務局）
　役割：各関係者との調整、事務処理全般

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

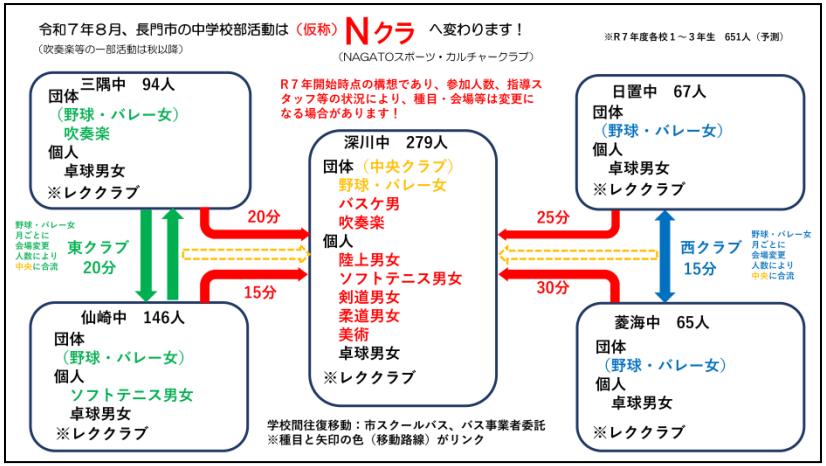
●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

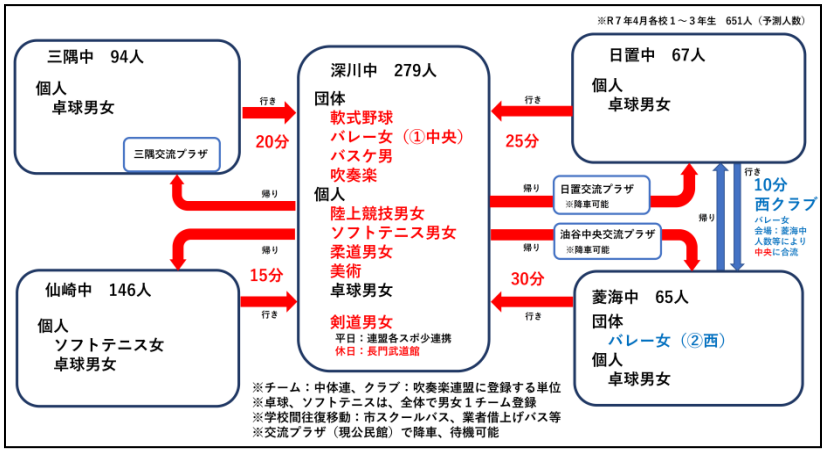
・部活動改革推進協議会を開催し、学校、スポーツ協会、保護者等との連絡調整を行う。
・市内の各種目関係者や学校部活動の顧問教諭等と随時協議を行うとともに、種目によっては、競技者向けアンケート調査を実施し、市営地域クラブの体制をより具体的に整備する。
・地域クラブ活動を一部試行的に実施する。
・連絡手段として長門市公式ＬＩＮＥアカウントを活用する。

取組の成果

・各関係者と効果的な連携を図ることができ、円滑な事業運営を図ることができた。
・各競技の現状や団体毎の様子が分かり、Nクラへの移行に向け、現在の部活動とスポ少で密な連携が図れ、今後は一緒に活動していく方針が決まる、競技者向けアンケートの結果から入部見込者数を把握し、チーム数を見直すなど、さらに具体的な体制を整備することができた。
・当初予定していた種目数以上の地域クラブ活動の一部試行、体験会を実施できた。
・長門市公式LINEアカウントを活用した参加申込みや関係者との連絡体制により保護者や事務の負担軽減を図ることができた。



※Ｒ5.10時点の体制案



※Ｒ7.1時点（最新）の体制案

今後の課題と対応方針

・現体制案をもとに、子どもたちに意向調査を実施し、その結果を踏まえながら、本格稼働に間に合うよう必要な取り組みを着実に実施していく。
・不測の事態に備え、各関係者と引き続き密な連携を図り、柔軟な対応ができる体制を構築する。
・公的支援の対象とする地域クラブの基準がないため、要件等の検討する。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保

取組事項

・市内の各種目団体等への説明、随時協議を行う。
・教職員向けにＮクラ参加に関する意向調査を実施する。
・クラブ活動前に指導者研修会を開催し、必要なスキルや心得を学ぶとともに、更なるスキルアップのため、外部講師の研修会を1回開催する。
・指導者資格等の取得に関する支援を行う。
・教職員・市職員等が参加する場合の仕組みづくりを行う。

指導者研修の内容

【クラブ活動に係る事前研修会】
・対象：各種目のクラブ指導者
・目的：Ｎクラの活動目的と活動方針を共通認識し、生徒が主体的かつ安全安心に活動できるよう指導者の心得や危機管理意識の醸成を図る。
・工夫：共通理解が図れるようマニュアルを作成した。
【外部講師による指導者等研修会】
・対象：スポーツ指導者、小中学校教諭、保護者等
・目的：中学生年代の「積極性」を引き出す関わり方を学ぶこと
・工夫：保護者等も対象とし、より多くの人に地域移行への関心をもってもらえた。

取組の成果

・指導者を46名確保。他種目についても、一定の指導者候補を発掘することができた。
・地域移行後も引き続き指導に携わりたい教職員の意向を確認し、希望者と参加に向けた調整を行うことができた。
・研修で学んだことを早く現場で活かしたいとの声が多くあった。
・市独自の支援策を設け、新規で指導者資格を4種目で計16名が取得。
・教職員、市職員等の人事担当部署と、兼職兼業や職専免の取り扱い等について具体的な調整を図ることができた。

今後の課題と対応方針

・指導者によって、経験値が大きく違うケースがあったため、座学による研修だけでなく、実際の指導にあたるための実技研修等を検討する。
・指導者の確保が難しい種目があるため、専門的な知識がある指導者をサポートできる人材を確保する。
・上記人材への研修内容を検討する。
・競技団体や関係者の数が少なく、高齢化も進んでいる状況を踏まえ、若者が指導者として参画しやすい環境の整備、働きかけを検討する。

種目	指導者数 ※候補のみは△
軟式野球	△
バレー女子	1
バスケ男子	△
卓球男女	15名
陸上競技	11名
ソフテニ男女	2名
剣道	11名
柔道	6名

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

・中学校長会や市PTA連合会等において本市の取組や今後の見通し等を説明する。
・既に市内で地域クラブとして活動する団体と意見交換を行う。
・市内の各種目団体等への説明、随時協議を行う。
・スクールバスや借り上げバス等を運行し、生徒の活動場所までの送迎を行う。

取組の成果

・学校の理解と協力を得て、学校を訪問し、児童や生徒、その保護者に本市の取組や今後の見通し等について直接説明することができた。※計12回で約1,000人に説明
・他地域クラブとの交流を通して、合同練習の検討など、今後の連携体制を協議することができた。
・各種目団体等との繋がりから、審判員等の指導者以外に協力が必要な人材の確保ができた。
・スクールバス等を運行し、生徒がNクラ移行後のイメージを持つことができた。また、安全に駐停車できるスペースを確認できたこと、乗車確認は生徒が主体になって行えたことなど、課題と収穫を得ることができた。





バス等の運行実績

・日数　　8日
・利用者数　　延べ110人
・運行経路
　各中学校経由～各会場
　※陸上競技は片道のみ

バス等の運行経費

・スクールバス運行委託（片道）
　12,500円/回　計6回運行
・借り上げバス等運行業務（往復）
　30,800～49,500円/回
　計3回運行



今後の課題と対応方針

・地域一体となった取組を進めるため、今後も丁寧な説明、情報発信の強化に努める。
・参加者を乗せたバスや指導者の車を駐車するスペースが足りないため、新たな駐車スペースと生徒の乗降スペース確保する。
・バス等の運行に係る財政負担が大きいため、負担軽減のための手法を検討する。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等①

取組事項

・Nクラの運営に係る全体予算を立て、保護者アンケートの結果等を踏まえながら、部活動改革推進協議会で参加費用負担とその支援について内容を検討する。

取組の成果

・バス等移動の経費が大きく占めるが、生徒の活動機会の確保を最優先に、予算の確保に努める方針が決定。
・学校間の移動経費は保護者負担にしてほしくない、選択する種目によって費用に差が出るのは共通の選択肢の確保ではないなどの意見を採用し、参加費用負担額は全員一律の額とする。
・国と県が策定したガイドラインを参考に、過去の保護者アンケート調査の結果や見直したクラブ活動の内容と照らし合わせるなど、総合的に判断した結果、月額1,000～2,000円の範囲で最終決定に向けた検討を行う。
・経済的に困窮する家庭として「就学援助受給世帯」を対象に減免制度を検討する。

今後の課題と対応方針

・市の財政負担が非常に大きいことから、ふるさと納税制度の活用など、財源確保に向けた取組みを検討していく。

クラブ経費の全体像

・全体予算額　56,000千円/年
«内訳»
①指導者の謝金　13,000千円
②バス等移動の経費　30,000千円
③各チーム活動費　3,000千円
④その他（事務局費等）10,000千円

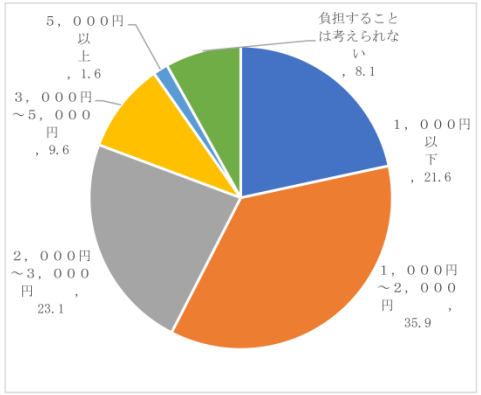
会費収入の概算

・生徒数の約70%が参加すると仮定して年間400人を基準値とする。
@1,000円×400人×12月＝4,800千円
@1,500円×400人×12月＝7,200千円
@2,000円×400人×12月＝9,600千円
@3,000円×400人×12月＝14,400千円

保護者アンケート調査結果

【保護者アンケート調査結果】　※R5.5月実施
Q.負担月額はどの程度が適当と考えますか？
・1,000 円以下　21.6%
・1,000 円～2,000 円　35.9%
・2,000 円～3,000 円　23.1%
・3,000 円～5,000 円　9.6%
・5,000 円以上　1.6%
・負担は考えられない　8.1%

Q.1週間の適当な活動回数は？
・平日1～2日、土日活動なし　10.5%
・平日1～2日、土日どちらか1日　6.4%
・平日2～3日、土日活動なし　12.3%
・平日2～3日、土日どちらか1日　16.9%
・平日3～4日、土日活動なし　18.8%
・平日3～4日、土日どちらか1日　33.3%
・その他　1.8%



2.実証内容と成果①

スポーツ庁

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

令和6年4月から市長部局に準備室を設置（教育委員会部局から移管）し、各関係者への説明や協議を加速させ、その結果をもとに、令和7年8月のNクラ設立に向けた準備を進めた。

一部試行的に実施した地域クラブ活動等を通して、多くの指導者を確保できたとともに、指導体制の構築、連絡手段として長門市公式LINEアカウントの活用やスクールバス等の運行などをテストし、実働に向けた課題を検証することができた。

また、各種目団体等との新たな繋がりから、審判員等の指導者以外に協力が必要な人材の確保でき、他の地域クラブと交流から、現在の部活動との連携などを図ることができ、より具体的な体制案を整備できた。

今後も各関係者との密な連携を図ながら、地域全体で地域移行を進めていく機運を高めていくことが重要である。また、本市では、指導者の確保、そして財源の確保が特に大きな課題であるため、今後は地域の民間企業等を巻き込んだ取り組みを進めていく必要がある。

●成果の評価

一貫指導に関する指導体制やバス等の駐車スペースの確保など、実際に運用して初めて分かる課題を把握することができた。これは、各関係者と具体的な協議を重ね、当初の予定以上の種目数で地域クラブ活動の一部試行を展開できたことが大きな要因となった。

また、円滑な事業運営を図れた理由として、今年度から新たにＮクラ通信や市ＨＰの特設ページによる情報発信に努めたこと、関係者へのアンケート結果から効果的な連携を図ったこと、さらに学校の協力で多くの説明機会を設け、それらを材料に各関係者と意見交換できたことが良かった。

令和7年8月の完全移行に向けては、まだ一部試行できていない種目が多く、より多くの成果を得るには、至急取り組みを広げていく必要がある。

●今後に向けて

・引き続き、各関係者との協議を継続し、指導者を確保しながら、予定する全種目で一部試行的に地域クラブ活動を実施し完全移行に向けた課題の検証を行う。

・Ｎクラ運営に係る財源の確保に努め、早期に参加費用負担額を決定し、希望するすべての生徒が持続的に活動できる体制を検討する。

・令和7年8月にすべての部活動をＮクラに移行する。

・地域の民間企業や近隣の自治体と連携した取り組みを進め、発展した地域クラブ活動の実現を目指す。

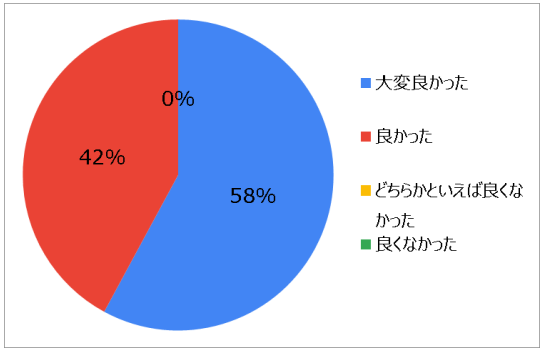
2.実証内容と成果②

スポーツ庁

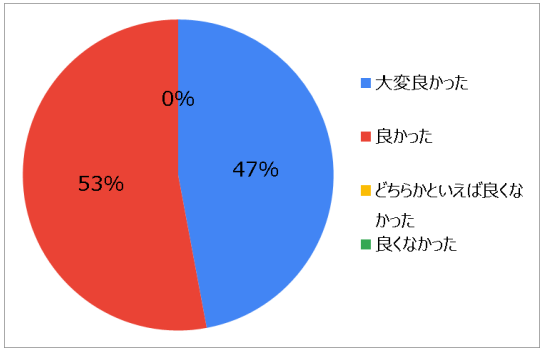
アンケート結果・参加者の声

●アンケート結果

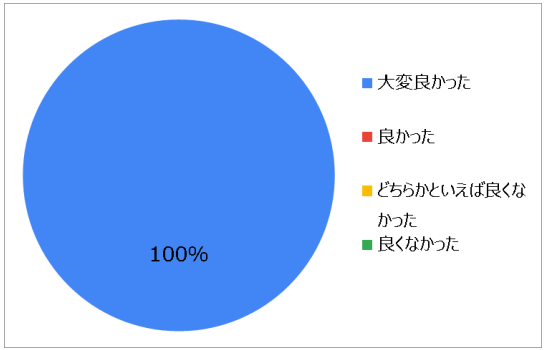
Q.（参加した生徒）参加されたクラブ活動はいかがでしたか？



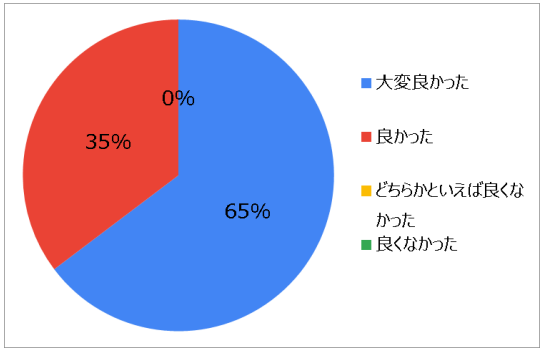
Q.（生徒の保護者）お子様が参加されたクラブ活動はいかがでしたか?



Q.（参加した生徒）バスの利用はいかがでしたか?



Q（生徒の保護者）LINEを利用した申込み、連絡等はいかがでしたか？



●関係者の声

参加した生徒

・他校の生徒と活動できて刺激になった。
・バスがあったから参加できた。運転手さんも優しかった。
・今までと違った専門的な指導が受けれた。学んだことを活かして、次の試合でいい記録を出したい！
・色んな方がわかりやすく教えてくれて良かった。
・もっと取り組む時間がほしい。

生徒の保護者

・最後まで楽しそうに安全安心に活動できていた。
・バスがないと参加が難しかったので助かった。
・LINEだと時間を気にせず連絡でき、雨天時の事前連絡などもスムーズにできて良かった。
・コーチの負担が大きいがもう少し時間が長く、活動日数も増やしてほしい。
・テスト週間は外してほしかった。
・誰が主で指導するか早く決まり、完全移行まで活動を継続してほしい。

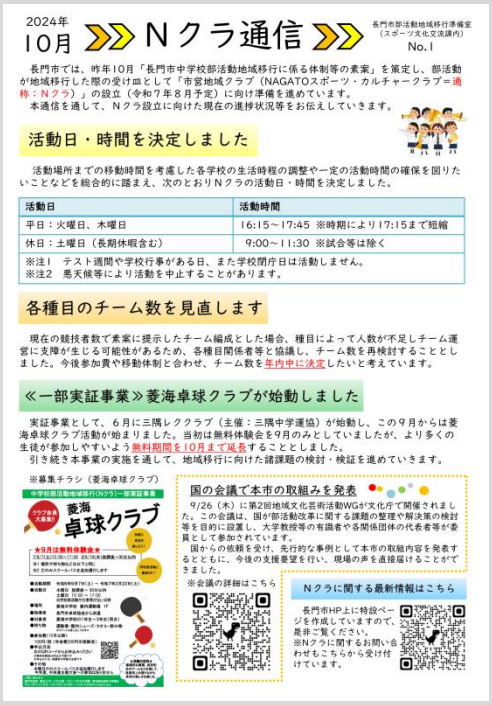
指導者

・これまで指導経験がなかったが、先輩指導者と対話し実際に指導して良さを実感した。
・天候による会場の変更など、柔軟な対応もテストできた。
・グループ間、各パートで指導にあたる難しさがあった。チームとして目標をしっかり共有したい。

2.実証内容と成果③

スポーツ庁

広報資料



2024年 10月 Nクラ通信 No.1

長門市部活動地域移行準備室（スポーツ文化交流課内）

長門市では、昨年10月「長門市中学校部活動地域移行に係る体制等の素案」を策定し、部活動が地域移行した際の受け皿として「市営地域クラブ（NAGATOスポーツ・カルチャークラブ＝通称：Nクラ）」の設立（令和7年8月予定）に向け準備を進めています。
本通信を通して、Nクラ設立に向けた現在の進捗状況等をお伝えしていきます。

活動日・時間を決定しました

活動場所までの移動時間を考慮した各学校の生活時程の調整や一定の活動時間の確保を図りたいことなどを総合的に踏まえ、次のとおりNクラの活動日・時間を決定しました。

活動日	活動時間
平日：火曜日、木曜日	16:15～17:45 ※時期により17:15まで短縮
休日：土曜日（長期休暇含む）	9:00～11:30 ※試合等は除く

※注1　テスト週間や学校行事がある日、また学校閉庁日は活動しません。
※注2　悪天候等により活動を中止することがあります。

各種目のチーム数を見直します

現在の競技者数で素案に提示したチーム編成とした場合、種目によって人数が不足しチーム運営に支障が生じる可能性があるため、各種目関係者等と協議し、チーム数を再検討することとしました。今後参加費や移動体制と合わせ、チーム数を年内中に決定したいと考えています。

≪一部実証事業≫菱海卓球クラブが始動しました

実証事業として、6月に三隅レククラブ（主催：三隅中学運協）が始動し、この9月からは菱海卓球クラブ活動が始まりました。当初は無料体験会を9月のみとしていましたが、より多くの生徒が参加しやすいよう無料期間を10月まで延長することとしました。
引き続き本事業の実施を通して、地域移行に向けた諸課題の検討・検証を進めていきます。

※募集チラシ（菱海卓球クラブ）

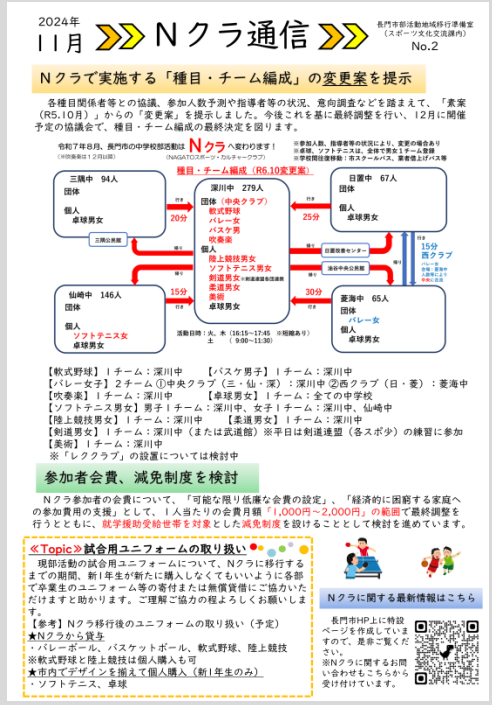
国の会議で本市の取組みを発表

9/26（木）に第2回地域文化芸術活動WGが文化庁で開催されました。この会議は、国が部活動改革に関する課題の整理や解決策の検討等を目的に設置し、大学教授等の有識者や各関係団体の代表者等が委員として参加されています。
国からの依頼を受け、先行的な事例として本市の取組内容を発表するとともに、今後の支援要望を行い、現場の声を直接届けることができました。

※会議の詳細はこちら

Nクラに関する最新情報はこちら

長門市HP上に特設ページを作成していますので、是非ご覧ください。
※Nクラに関する お問い合わせもこちらから受け付けています。



2024年 11月 Nクラ通信 No.2

長門市部活動地域移行準備室（スポーツ文化交流課内）

Nクラで実施する「種目・チーム編成」の変更案を提示

各種目関係者等との協議、参加人数予測や指導者等の状況、意向調査などを踏まえて、「素案（R5.10月）」からの「変更案」を提示しました。今後これを基に最終調整を行い、12月に開催予定の協議会にて、種目・チーム編成の最終決定を図ります。

令和7年8月、長門市の中学校部活動は Nクラ へ変わります！
（NAGATOスポーツ・カルチャークラブ）

種目・チーム編成（R6.10変更案）

※参加人数、指導者等の状況により、変更の場合あり
※卓球、ソフトテニスは、全体で男女1チーム登録
※学校間往復移動：ホスクール・バス、業者借上げバス等

【軟式野球】1チーム：深川中　【バスケ男子】1チーム：深川中
【バレー女子】2チーム（①中央クラブ（三・仙・深）：深川中 ②西クラブ（日・菱）：菱海中
【吹奏楽】1チーム：深川中　【卓球男女】1チーム：全ての中学校
【ソフトテニス男女】男子1チーム：深川中、女子1チーム：深川中、仙崎中
【陸上競技男女】1チーム：深川中　【柔道男女】1チーム：深川中
【剣道男女】1チーム：深川中（または武道館）※平日は剣道連盟（各スポ少）の練習に参加
【美術】1チーム：深川中
※「レクラブ」の設置については検討中

参加者会費、減免制度を検討

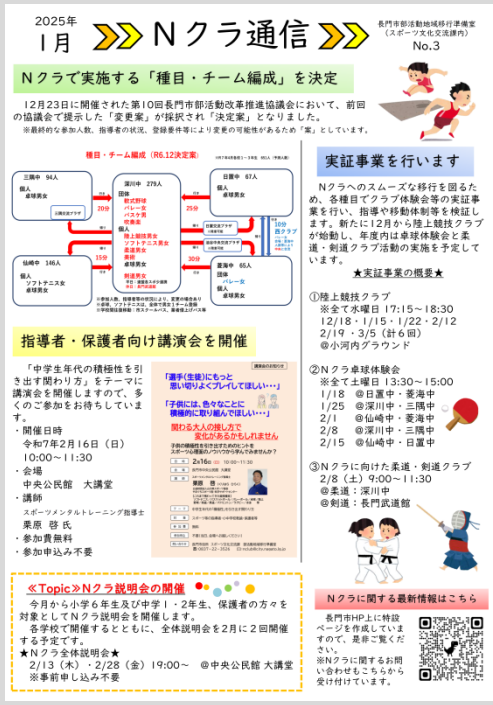
Nクラ参加者の会費について、「可能な限り低廉な会費の設定」、「経済的に困窮する家庭への参加費用の支援」として、1人当たりの会費月額「1,000円～2,000円」の範囲で最終調整を行うとともに、就学援助受給世帯を対象とした減免制度を設けることとして検討を進めています。

≪Topic≫試合用ユニフォームの取り扱い

現部活動の試合用ユニフォームについて、Nクラに移行するまでの期間、新1年生が新たに購入しなくてもいいように各部で卒業生のユニフォーム等の寄付または無償貸借にご協力いただけますと助かります。ご理解ご協力の程よろしくお願いします。
【参考】Nクラ移行後のユニフォームの取り扱い（予定）
★Nクラから貸与
・バレーボール、バスケットボール、軟式野球、陸上競技
※軟式野球と陸上競技は個人購入も可
★市内でデザインを揃えて個人購入（新1年生のみ）
・ソフトテニス、卓球

Nクラに関する最新情報はこちら

長門市HP上に特設ページを作成していますので、是非ご覧ください。
※Nクラに関するお問い合わせもこちらから受け付けています。



2025年 1月 Nクラ通信 No.3

長門市部活動地域移行準備室（スポーツ文化交流課内）

Nクラで実施する「種目・チーム編成」を決定

12月23日に開催された第10回長門市部活動改革推進協議会において、前回の協議会で提示した「変更案」が採択され「決定案」となりました。
※最終的な参加人数、指導者の状況、登録要件等により変更の可能性があるため"案"としています。

実証事業を行います

Nクラへのスムーズな移行を図るため、各種目でクラブ体験会等の実証事業を行い、指導や移動体制等を検証します。新たに12月から陸上競技クラブが始動し、年度内は卓球体験会と柔道・剣道クラブ活動の実施を予定しています。

★実証事業の概要★

①陸上競技クラブ
※全て水曜日 17:15～18:30
12/18・1/15・1/22・2/12
2/19・3/5（計6回）
@小河内グラウンド

②Nクラ卓球体験会
※全て土曜日 13:30～15:00
1/18　@日置中・菱海中
1/25　@深川中・三隅中
2/1　@仙崎中・菱海中
2/8　@深川中・三隅中
2/15　@仙崎中・日置中

③Nクラに向けた柔道・剣道クラブ
2/8（土）9:00～11:30
@柔道：深川中
@剣道：長門武道館

指導者・保護者向け講演会を開催

「中学生年代の積極性を引き出す関わり方」をテーマに講演会を開催しますので、多くのご参加をお待ちしています。
・開催日時
令和7年2月16日（日）
10:00～11:30
・会場
中央公民館　大講堂
・講師
スポーツメンタルトレーニング指導士
栗原 啓 氏
・参加費無料
・参加申込み不要

≪Topic≫Nクラ説明会の開催

今月から小学6年生及び中学1・2年生、保護者の方々を対象としてNクラ説明会を開催します。
各学校で開催するとともに、全体説明会を2月に2回開催する予定です。
★Nクラ全体説明会★
2/13（木）・2/28（金）19:00～　@中央公民館 大講堂
※事前申し込み不要

Nクラに関する最新情報はこちら

長門市HP上に特設ページを作成していますので、是非ご覧ください。
※Nクラに関するお問い合わせもこちらから受け付けています。



2025年 2月 Nクラ通信 No.4

長門市部活動地域移行準備室（スポーツ文化交流課内）

≪重要≫Nクラ加入に係る種目選択の注意事項

★Nクラ内で選択・所属できる種目は1人1種目とします。
※バレーボール女子は、所属校で西と中央のチームに分かれます。
※Nクラ内での種目変更は随時可能ですが、登録の関係上、次の大会等に出場できない場合があります。
★原則、参加者（スポーツ系）はNクラで中体連主催大会（選手権大会、新人大会等）に出場します。
※他団体で活動しながらNクラに加入する場合、選手登録の規定（クラブ2重登録の禁止等）や各チーム運営の混乱を防ぐ観点から、選択・加入できる種目を制限する場合があります。※下図参照

Nクラ種目選択フローチャート

例1　中体連登録する民間のソフトテニスクラブで活動する生徒が、Nクラへの加入を希望する場合、登録上の制約のない文化系種目であれば選択可能。※①に該当（要相談）

例2　中体連登録しない民間の軟式野球クラブで活動する生徒が、Nクラのスポーツ系種目への加入を希望する場合、中体連登録は重複しませんが、連盟登録が重複するため、軟式野球以外の種目であれば選択可能。※②に該当（要相談）

重要　これまでは、種目により、学校部活動と民間クラブの2重登録が可能な場合がありましたが、Nクラは民間クラブと同等の扱いとなるため、いずれかのクラブでしか登録ができなくなります。年度途中のクラブ間移籍もできない場合が多くありますので注意が必要です。

※各学校説明会等でのご質問への回答やよくある質問Q&Aを市HPに掲載しています。
下部ＱＲコードからご確認ください。

≪Topic≫生徒・児童への意向調査

Nクラの本格稼働に向けた準備を更に進めるため、3月に現小学6年生と中学1・2年生を対象とした「Nクラへの参加等に係る意向調査」を実施します。※学校内で実施
あらかじめ、4～7月（部活動、他クラブへの加入等）と8月（Nクラ運営開始）以降の活動をどうするかご検討をいただきますようお願いいたします。
※本調査は、あくまでも調査時点の意向であり、Nクラの参加や所属チームの確定ではありません。5月下旬頃に正式な加入申込みを受け付ける予定です。

Nクラに関する最新情報はこちら

長門市HP上に特設ページを作成していますので、是非ご覧ください。
※Nクラに関するお問い合わせもこちらから受け付けています。

≪問い合わせ先≫
ＴＥＬ：0837-22-3526
メール：nclub@city.nagato.lg.jp

【Nクラ通信を発行し、本市の取り組み等を広くお知らせしています】

2.実証内容と成果③

スポーツ庁

広報資料

NAGATO スポーツ・カルチャークラブ

（Nクラ）

概　要

（令和７年１月）

長門市

長門市教育委員会

長門市では、近年、少子化により各中学校単位での部活動存続が困難となってきている中、全国的に少子化や学校教員の働き方改革をふまえた「休日の部活動地域移行」の取り組みが令和５年度から始まりました。

市では、この機会をチャンスと捉え、市内共通の種目選択肢を確保し、平日・休日ともにスポーツや文化芸術活動に親しむことができる市営地域クラブ「ＮＡＧＡＴＯスポーツ・カルチャークラブ（通称Ｎクラ）」を令和７年８月に設立、運営開始することとして準備を進めています。

長門市の子供たちの健やかな成長のために、スポーツ・文化芸術活動を持続的に親しめる環境を市民の皆さんとともに目指してまいりますので、ご理解とご協力をお願いします。

【令和7年1月にNクラの概要資料を作成し関係者に配布しました】



特集 01

中学校部活動地域移行

令和７年８月、長門市の中学校部活動は
Ｎクラ（NAGATO スポーツ・カルチャークラブ）
に変わります！

近年、少子化により各中学校単位での部活動存続が困難となってきている中、少子化や学校教員の働き方改革を踏まえた「休日の部活動地域移行」の取組が始まりました。
市ではこの機会に、市内共通の種目選択肢を確保し、平日・休日ともにスポーツや文化芸術活動に親しむことができるよう、市が運営する新たな地域クラブ（Ｎクラ）を令和７年８月に設立することとしています。
子どもたちの健やかな成長のために、スポーツ・文化芸術活動を持続的に親しめる環境を市民の皆さんとともに創ってまいりますので、ご理解とご協力をお願いします。
※令和７年７月末までは、現行の各学校部活動を行います。（吹奏楽部は 11 月末まで）

スポーツ文化交流課内　部活動地域移行準備室　☎22-3526

Ｎクラの目的、活動方針

生徒の自発的な参加のもと、「体力・感性の向上」「自己表現」「責任感と協調性」をはぐくみ、生涯にわたってスポーツや文化芸術活動の楽しさを感じるとともに、それぞれの目標に向かって自主的かつ真摯に取り組むことができる人材を育てる。
・生徒の心身の健康と成長に配慮し、安全・安心な活動を図る。
・団体や個人の大会などでの勝利や技術向上のみを目的とせず、仲間と協力し友情を深め、さまざまな人と交流する中で好ましい人間関係や社会性の形成に資する活動を目指す。
・生徒の発達や能力の段階に合わせた合理的かつ効率的・効果的な活動を図る。

■活動日・時間
平日
・火、木曜日
・16：15～17：45（30分）
※時間により60分まで短縮
休日
・原則土曜日
・9：00～11：30（30分）
※大会、試合などの場合は除く
長期休暇中
・火、木、土曜日
・9：00～11：30（30分）
※定期テスト期間および左記の期間は原則活動なし
5ノ3、5、13ノ17～ノ5、8ノ1～15、23ノ30～ノ4ノ3
※悪天候、学校行事などにより中止する場合があります

■会費、費用負担
月額会費1,000円～2,000円（検討中）
※就学援助受給世帯は減免制度あり
※個人に帰属する用具、衣服は個人負担

■指導者・体制など
・各種目休日の指導者は、市立学校から推薦された者を市営地域クラブの指導者として委嘱
※時間により、参加を希望する小中学校教職員、市職員（一般競技等審判員）、各種目チームで指導者グループを構成する
※活動は原則2名配置
・コーチ（技術指導）・・・チームに帯同し、技術指導や大会引率などを行う
・サポートコーチ・・・特定のチームには所属せず、指導補助や安全管理を行う

■活動場所への移動
各学校間をスクールバスなどで往復運行する

■大会などへの参加
日本中学校体育連盟主催大会、吹奏楽連盟主催コンクールなどに参加する

■連絡体制
長門市LINE公式アカウントを使用

2025.2.1　4

種目、チーム編成、バス移動計画イメージ図（令和７年度 予測生徒数）

日置中学校　６７人
卓球男女

日置交流プラザで降車可能
（現日置福祉改善センター）

仙崎中学校　１４６人
ソフトテニス女子
卓球男女

深川中学校　２７９人
軟式野球
バレー女子（中央クラブ）
バスケ男子
吹奏楽
陸上競技男女
ソフトテニス男女
柔道男女
美術
卓球男女
剣道男女（長門武道館）

西クラブ
バレー女
会場：菱海中
（人数などにより中央クラブと合流）

菱海中学校　６５人
バレー女子（西クラブ）
卓球男女

三隅中学校　９４人
卓球男女

道谷中央交流プラザで降車可能
（現道谷中央公民館）

※参加人数、指導者などの状況により、変更の可能性あり
※卓球、ソフトテニスは全体で男女１チーム登録
※交流プラザの名称は令和７年４月から使用

■種目、チーム、活動場所
参加人数、指導者の状況、登録形態などにより変更する場合あり
軟式野球
1チーム
会場：深川中
バレーボール女子
2チーム
会場：深川中（深川・三隅・仙崎）
菱海中（三隅・菱海）
バスケットボール男子
1チーム
会場：深川中
吹奏楽
1クラブ
会場：深川中
陸上競技男子・女子
1チーム
会場：深川中
ソフトテニス男子・女子
1チーム
男子会場：深川中
女子会場：深川中・仙崎中
柔道男子・女子
1チーム
会場：深川中
美術
1クラブ
会場：深川中
卓球男子・女子
1チーム
会場：全５校で練習実施
剣道男子・女子
1チーム
平日会場：剣道連盟と連携
休日会場：長門武道館

5　長門市広報 知っちょこ

【令和7年2月市広報に本市の取り組み状況等を掲載しました】

2.実証内容と成果④

スポーツ庁

参考資料（活動写真）



【菱海卓球クラブの様子】



【Nクラに向けた剣道クラブの様子】



【長門市陸上競技クラブの様子】



【Nクラに向けた柔道クラブの様子】

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和4年	令和５年	令和６年		令和７年
・アンケート調査1 ・協議会の設置	・アンケート調査2 ・協議会での検討	・10月に「素案」を策定 ・実現に向けた課題の検討	・市長部局に「準備室」を設置 ・関係者との協議	・クラブ活動の一部試行 ・体制の再整備	・Nクラの設立、運営開始

●ステークホルダー

生徒、保護者、学校、スポーツ協会、教育委員会

●経過

生徒と教職員と対して地域移行に関するアンケート調査を実施し、その結果をもとに、設置した協議会において部活動改革を具体的に検討していくこととした。

●実施にあたって生じた課題

指導等に携わる人材が確保できるか、適切な活動日数はどのくらいか、子どもたちが学校から別会場に移動してまで活動したいかなど、地域の実情と関係者のニーズにあったかたちを検討する必要がある。

●ステークホルダー

児童、生徒、保護者、学校、スポーツ協会、教育委員会

●経過

児童と児童・生徒の保護者に地域移行に関するアンケート調査を実施し、前年の結果と合わせて協議会で検討を進め、10月にNクラの設立を目指す「素案」を策定し本市の方向性を定めた。

●実施にあたって生じた課題

全ての関係者が素案について共通認識を持ち、実現に向けた諸課題を地域で進めていく必要がある。

●実施内容、工夫した点　等

各中学校入学説明会で本件を直接説明するとともに市広報やHP等で公表し広く意見を求めた。

●ステークホルダー

児童、生徒、保護者、学校、スポーツ協会、各スポーツ団体、教育委員会、市長部局

●経過

教育委員会部局から移管し市長部局に「準備室」を設置。各関係者等と具体的な協議を進め、クラブ活動の一部試行した。また指導者の確保に向けた取り組みを進めた。

●実施にあたって生じた課題

児童生徒の意向や各関係者との協議から素案で示した内容を見直す必要が生じた。

●実施内容、工夫した点　等

必要に応じてアンケート調査の実施や関係者と協議し、より具体的な体制案をまとめた。

令和７年８月にNクラを設立し、休日・平日含めた地域クラブへ完全移行する。

3.今後の方向性

スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

	令和６年度			令和７年度				
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
活動種別	学校部活動（中国大会以上に進出した部活動はその試合まで、吹奏楽部は11月まで継続）							
情報発信	各学校説明会	入学説明会		教員説明会	クラブ紹介			
	全市・各地区説明会							
	Nクラ通信の発行、ホームページ更新等							
指導者	実証事業・体験会への参加							
				登録・審査・委嘱				
				研修会受講				
	各種団体等との協議・調整							
R6年度 小学６年生 中学1・2年生	実証事業・体験会への参加							
			意向調査	部活動入部 中体連登録①	入会申込み	中体連登録②		
大会等						選手権予選 （市・広域）	県選手権	吹奏楽コンクール 中国大会 全国大会

Nクラ
運営開始

活動初回
8/19（火）
9時～

※令和７年度中にすべての部活動を市営地域クラブに移行する予定